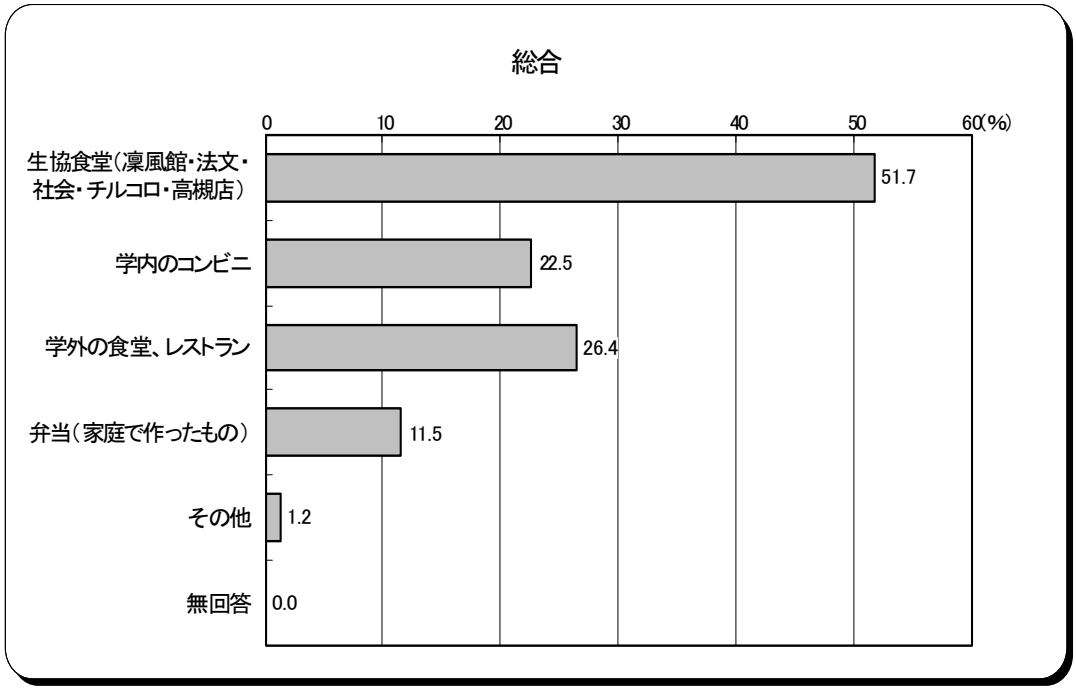
昼食のとり方

問47　昼食はどのような方法でとりますか。２つまで選んでください。



約５割が学内食堂、あとは収容しきれず学外やコンビニへ

本学学生の昼食のとり方について聞いてみた。

学内の食堂事情は、平成18年度から大きく変わった。経商カフェテリア（約300席）と旧生協本部食堂が消滅し、凜風館食堂「ディノア」がオープンした。凜風館食堂は、約1000席が設置されており、旧生協本部食堂とほぼ同数。実質、経商カフェテリアの座席数分が減少したことになる。

データを見ると生協食堂で昼食をとると答えた人は約半数。学内のコンビニと学外の食堂が全体の4分の1ずつでほぼ横並びである。残りは、家庭で作った弁当が11.5％、その他1.2％である。この数値をどう読み取るか。昼休みに学内の食堂がいつも満席であることを考えると、コンビニや学外の食堂で食事をとっている人達は、学内の食堂を利用したくても満員でできないものと推測できる。昼食の場所については、学内の食堂の座席数と大いに因果関係があると思われる。

学内のコンビニでパンや弁当を購入した学生達は、キャンパス内のベンチ、悠久の庭、教室等で昼食をとっている。雨天時には屋外では食べることができず、建物内へと避難してくる。凜風館1階学生ラウンジは、雨天時には床に座り込んで昼食ととる学生でごったがえしている光景が見受けられる。

大学として、学生の福利厚生の充実に目を向け、早急に改善していくべきである。